

公民館だより

題字：前衛書家「吉川壽一」先生

平成25年10月15日発行【第335号】

発行元

吉崎公民館

福井県あわら市吉崎 8-34

郵便番号 922-0679

電話 0776(75)1205

komin-yoshizaki@city.awara.lg.jp



『あわら市総合防災訓練』

9月29日（日）、早朝6時30分より「あわら市総合防災訓練」が吉崎小学校で行われ、地区住民や市、県、嶺北消防署、あわら警察署、市社会福祉協議会、自衛隊鯖江駐屯地など約360人が参加しました。

市の防災無線を受け、震度6強の地震で沿岸に2メートルの津波が押し寄せ、家屋倒壊や浸水被害、火災などが発生したとの想定で行われました。

災害を乗り越えるため地域住民と市・関係機関等が連携を図り、吉崎地区と浜坂区の住民は区ごとに設けた自主避難場所から高台の吉崎小学校のグラウンドへ移動しました。

県防災ヘリが出動し屋上に取り残された被災者を引き上げて搬送を行う訓練や、自衛隊車両による炊飯もあり、市赤十字奉仕団と住民で非常炊き出しを行い、市の理事者や消防団などは、災害対策本部の運営や情報伝達の連携を確かめあいました。

住民は、土のうを作っての水防工法訓練や緊急搬送用の担架作り、AEDを使った心肺蘇生実技訓練などに取り組みました。

地域の防災力強化は、行政、区長会、自主防災組織だけでなく、住民一人一人が危機管理意識を共有することが重要です。防災意識の向上に努め、いつ怒るかわからない災害に備えましょう。



10月22日（火）・23日（水）；健康長寿祭



『総合次勝』 おめでとう！

10月6日（日）、「第10回あわら市民体育祭」が「トリムパークかなづ」において盛大に開催されました。

今年は天候に恵まれる中、市内を16のブロックに分け対抗方式で行われ熱戦が繰り広げられました。

老若男女が参加できる競技から、得点を競う種目など、バラエティーに富んだ12の種目が用意され、選手や応援の皆さんは競技を存分に楽しんでいました。



また、種目によっては、地区の名誉を背負った本気モードのプレーが随所に見受けられ各地区の応援団からは大きな声援が送られていました。

吉崎・浜坂地区からもたくさんの方が参加され「スポーツの秋」を満喫すると共に、総合2位の栄誉をいただきました。

参加した選手の皆様、ご声援いただいた地域の皆様、ありがとうございました。



『吉崎小学校校下合同運動会』

9月22日（日）、吉崎小学校校下合同運動会が、天気に恵まれさわやかな秋晴れのもと、橋本あわら市長をはじめ、多数の来賓をお迎えして盛大に行われました。

児童たちは、1日頃の練習の成果を思いきり発揮し、元気一杯に運動場を駆け回っていました。

今や良き伝統となっている応援合戦も素晴らしく、保護者や地域の皆さんに、一生懸命に頑張る児童の姿を見ていただくことができました。

児童達には緊張感の中、力を存分に発揮できた子、そうでない子、様々ではありましたが、運動会という二学期最初の大きな行事をやり終えて、「頑張った」という大きな実感が得られたことでしょう。ここで培った自信をこれからの学校生活や、秋季マラソン記録会に生かしてもらいたいです。

みんなの笑顔がはじける、地域一体となった吉崎小学校の合同運動会。暑い中、前日の準備から、PTA・体協



など、多くの方々の協力で、校下合同運動会が盛大に行われたことが、吉崎・浜坂両区の喜びと言えるでしょう。心からお礼申し上げます。



『うららん2013・秋』開幕！



秋晴れの9月14日（土）、あわら市と三国町（坂井市）の魅力を多くの人に体験していただくあわら三国温泉泊覧会「うららん2013・秋」が開幕しました。

「セントピアあわら」でのオープニングセレモニーには約30人が参加。橋本あわら市長の祝辞のあと、吉崎音楽保存会が「剣の舞」などを披露し、1ヶ月にわたる催しのスタートを切りました。

セレモニーのあとに行われた親子で学ぶバルーンアート教室には、親子連れ15人が参加し、膨らませた風船を引っ張りながらねじるなどして、風船が割れないかドキドキしながら、犬やウサギなどのかわいい動物を作って楽しみました。初日は他に、ハンドメイド腕時計づくり、パ・ドゥドゥでの乗馬、念珠作り教室が、あわら市内各場で行われました。

『心温まる念珠づくり』

吉崎蓮如上人記念館では、念珠づくり体験教室が行われ11人の参加がありました。

開催にあたり、前吉崎公民館館長・山本篤氏に「吉崎の国境」（県境）をテーマにお話をいただきました。

次いで、本願寺御連枝・霊光院大谷実成殿の「念珠の由来と意味」のお話のあと、参加者は好きな色の球や紐を選び、一粒一粒の珠に想いを込め世界で一つのオリジナルの念珠を作っていました。

世界に一つだけの念珠が出来ました！



『あわら市に伝わる郷土の滝瓦』DVDを、お貸し致します！

「古方で再現する瓦づくりの工程」、その記録DVDを貸し出します。

あわら市細呂木地区で200年以上にわたって生産されていた滝瓦。昭和初期には越前で生産される瓦の約三分の一が滝区で生産されていました。

この滝瓦の製造工程を記録し地域の伝統文化を後世に伝えようと、細呂木公民館が中心になって県内で唯一の鬼師である「西郡正義」氏の指導のもと、昭和初期当時の衣装や道具、古方による製造工程を忠実に再現した映像記録を制作しました。

是非、ご利用下さい。

問合せ先 吉崎公民館：75-1205 （9：00～17：00 土・日休館）

『桜の古木が倒れる』

日本列島を襲った超大型の台風18号が、各地で被害をもたらしました。

9月16日（祝）、吉崎地区においても、国道305線が浸水し、御山の桜の木一本が根っこから倒れるなどの被害がありました。



太い大きな桜の古木は、御山のシボルです。昔から残る大切な木をなんとか生き返らせようと、倒れた木を起こし埋め戻しました。

来年の春も、今迄のように綺麗な花を咲かしてくれるでしょう。



今話題の田中光敏監督と 観光プロモーションビデオを作ってみませんか

是非、吉崎の良い所を組み込んで、応募ください！

あわら市では、西田敏行さん主演の「火天の城」や、モントリオール世界映画祭で最優秀芸術貢献賞に選ばれた市川海老蔵さん主演の「利休にたずねよ」（今冬公開予定）など、日本映画界に数々の話題作品を送り続けるヒットメーカー・田中光敏監督に、市の観光プロモーションビデオを手掛けていただく予定です。撮影は、今年の冬から来年秋ごろまでの1年を通して行い、再来年3月までに完成させる予定です。

この観光プロモーションビデオの制作に当たり、打ち合わせ会議や撮影の補助など、田中監督と一緒に作品作りに関わるプロジェクトチーム（仮称）を設置し、市内外の皆さんからそのメンバーを募集することになりました。

あわら市が大好きな人、映画作りに関心のある人ならどなたでも結構です。ふるさとに対する思いを、田中監督のメガホンを通して形にしていける作業に、あなたも参加してみませんか。皆さんからのご応募お待ちしております。

問合せ観光商工課 TEL 0776-73-8029



『吉崎語り部の会』 会員募集

吉崎語り部の会では、会員を募集しております。

吉崎の歴史や文化、民話等に興味のある方なら、どなたでもOK！語り部の会の情報をお届けする他、皆さんとの交流を図り、会の発展に役立つご意見を頂きたいと思っています。

ぜひ、ご入会をお願い致します。（吉崎公民館まで）



The 時代 『吉崎御坊の建立』 吉崎の変遷を辿る

特別資料編

蓮如は文明3年5月吉崎御坊建立のため北陸に下向し、加賀の今江湯近くの御辛塚城主、富樫泰高を訪ねて御坊建立の施主を頼みました（専修寺史要）。

また細呂宜郷の庄官、和田の本覚寺に相談してその門徒、下間蓮崇（しもつまれんすう）に工事現場を担当させました。

蓮崇は福井在麻生津の人で土木建築にくわしく、大工は伊井と矢地の宮大工でありました（宮大工の伝承）。

蓮如の説教が始まると多くの信者が参集しましたが、文明5年に経覚は死去し、翌6年3月富樫泰高の甥正親の放火によって吉崎御坊は焼失しました。

蓮如は翌7年4月仮御堂を建てましたが、吉崎の御山が借地で本願寺の適地でなかったため、8月21日に吉崎を去り、本覚寺蓮光に留守職を申し付け山城の山科に寺地を求めて本願寺を建てました。



吉崎御坊本堂跡

知ってますか：・・・吉崎？

あるんです、句碑が

《熊谷太三郎歌碑》

所在地 蓮如上人記念館七不思議堂前

碑 石 花崗岩の自然石に黒御影石埋めこみ

最大巾 184cm、高さ165cm

碑面縦 97cm横56cm

碑 文 『妻のため人形を買ふ旅の店 人には孫への土産と言ひて』

建立者 熊谷春秋会

設計者 五十嵐直雄

建立年 昭和56年11月3日

施工者 三国町小森石材工業株式会社



蓮如上人記念館の片隅に、熊谷太三郎氏の歌碑が立っています。

氏は昭和5年京都帝国大学経済学部を卒業し、福井市議・福井市会議長から同20年には福井市長になり、敗戦と震災で壊滅的な打撃を受けた福井市の復興に力を尽しました。

また建設会社「熊谷組」社長として実業界での功績も大きく、同37年には参議院議員に当選して科学技術庁長官をも歴任、政財界の大立物として、夙に全国的に著名である。

またその半面、多忙な中で「アララギ派」の歌人としても長い歌歴をもっていた。

当時、福井市中央2丁目の自宅横の熊谷事務所の2階には、アララギ会「柊」の発行所があり、毎年5・6月の頃には、吉崎紫水館で定例の北陸アララギ大会が開かれ、同派の主宰者、土屋文明をはじめ吉田正俊等、同派の選者達も多数出席していましたので、この地の風物をよんだ歌も数多くのこされているのです。

【今月のことば】

一日不作一日不食

(一日作らざれば 一日食らわず)

これは、一日仕事をしなければその一日は食べてはいけないという意味ではありません。

「一日作さざれば一日食らわず」という言葉は字面だけ読めば、「働かざる者食うべからず」と思われるかもしれませんが、そうではないのです。

これは、唐の時代の有名な禅僧百丈懷海（ひゃくじょうえかい）の言葉です。百丈が八十歳の時です。この高歳になっても百丈は日々の作務をしていました。

弟子たちは高齢のこの作務を見かねて師匠に、「作務をやめてください」と申し入れます。それでも聞き入れなかったため、作務ができないように、作務に必要な道具を隠してしまいました。そうすると、百丈は作務をしようにもできない。その日、百丈は食事をとらなかったのです。次の日も、その次の日も。それが三日も続いたので、弟子たちは師匠に、「なぜ食事を召し上がっていただけないのですか？」と尋ねました。そのときに百丈が答えた言葉が、「一日作さざれば一日食らわず」であったのです。そこで、弟子たちは師匠に非を詫言べて道具を返しました。すると百丈はすぐに作務に出かけ、いつものように食事をしたということです。

百丈に言わせれば、生活がそのまま修業だということです。食べる事も作務も、生きるための要素ではあるが、ただ生きるためにあるのではない。このことを弟子たちに教えたかったのではないのでしょうか。毎日を勤勉に生活する事が大切だということなのでしょう。

(挿絵；小坊主つばめ)



【吉崎再発見】43

～蓮如上人銅像物語②～

今造ったら、どの位かかるかな。

「今時の人は、何でもお金で価値を決めようとする」といってとがめる人もあるが、金額を聞いて理解するのも仏縁ですから、いいじゃないですか。

この銅像は昭和3年に発願して満6年の歳月と5万7千円の寄付金で完成したもので、今造ると約3億円以上はかかるでしょう。(昭和7年の教員初任給を、月40円、米で2石3升、今年の初任給約20万円として計算) しかも当時は世界的な大不況で日中戦争が勃発した年ですから、寄付金の募集は大層困難したようです。

当時の福井新聞によると、銅像の原型は東京で高村光雲監督の下に制作し、銅像は武生の新保佐治平鑄造所が造ったもので、上半身は武生で下半身は福井の九十九河原で鑄造し両部合わせて完成したそうで、丸岡町を回って吉崎へ運んだのです。また、銅像周辺の工事と御影石工作の設計は福井県技師、川上広氏の行ったもので石材工事はすべて滋賀県長浜市の石寿石材会社が行ったと周辺の石に刻んであります。(辻仁左工門調査書)



*都合により、「シリーズこの人に聞く」は休載します。

駐在さん、だぁ～い好き！ -その16-

こんにちは、吉崎駐在所の宮越です。

平素は、警察行政各般にわたり多大なご理解・ご協力を賜り感謝申し上げます。

1. 北潟幼稚園の園児21人が吉崎駐在所に慰問に来てくれました。

9月12日（木）に、北潟幼稚園「しろぐみ」と「あおぐみ」の園児さん21人のみんなが、駐在所に慰問に来てくれました。

吉崎駐在所では、この春から継続して、地域の安全活動の一環としてパトロールで同園に頻繁に立ち寄ったり、不審者対応訓練や防犯教室等を実施してまいりました。

そのお礼ということで、思いもかけず園児の皆さんの訪問を受けました。

園を代表して年長組のみんなから、本職の似顔絵を描いた可愛らしい色紙をいただきました。大変感謝の思いです！！今後も、地域の安全のため努めてまいりたいと考えております。どうぞよろしくお願い致します。

なお、本慰問の記事は、福井・日刊県民・毎日の新聞各紙に掲載されたほか、NHKのラジオでも紹介されました。

2. ツキノワグマの出没及び危害の発生にご注意ください！

秋が深まる季節となってきましたが、実りの秋とともに、これからはツキノワグマが頻繁に出没する季節となり、注意が必要となってきます。

熊と遭遇すると、大きな怪我につながる可能性がありますので、以下の点に御留意を頂ければと思います。

○熊と遭わないために必要なこと

- ・ 熊の餌となる実のなる木（ブナ、栗、ナラ、柿など）には近づかない。
- ・ 鈴やラジオ、大声を出して歩く
- ・ 早朝、夕方、霧等で見通しが悪い林には立ち入らない

○熊を引き寄せていませんか？

- ・ 生ごみを屋外に放置しないでください。
- ・ お墓のお供え物は必ず持ち帰ってください。
- ・ 家で、柿・栗等を植えている場合は、早めに収穫を。

○万一、熊に遭遇してしまったら

- ・ とにかく落ち着くこと！騒がず、走らず、熊の方を見ながらゆっくり後退
- ・ 攻撃が避けられないときは、「急所」を守る。

地面に伏せ、両手で首の後ろをガードして、頭と首を守る。



参加者募集！「吉崎語り部の会研修会」

行き先 一乗谷朝倉氏遺跡・勝山平泉寺（予定）／限定20名

期 日 11月10日（日）

出発時間 午前8時

参加費 語り部の会会員2000円／一般3500円（人数によって変更あり）

詳細は吉崎公民館まで（☎75-1205）

【ふるさとクロスワード】

＊答えの解った方は、公民館まで連絡して下さい。正解者には、年度末に素敵な賞品が当たる抽選券を差し上げます。

(×切は平成25年11月10日)

先月号の回答は「ガイロジュ」で、Bの「イチヨウ」でした。

今月の問題

パズルの中のAからDの4文字を並び替えて組み合わせ、日本のある地方にして下さい。その地方にある県は、下の3つのうち、どれでしょうか？

(A ; 青森、B ; 静岡、C ; 熊本)

1	6	8		13	15	18
2				14		D
		9	12			
3	7				16	
4		10				
		11			17	19
5			C			

【よこのヒント】

- ① ; 与謝野晶子が芦原温泉で詠ったうた、「越の雪 芦原の湯場の雪にさす いみじく 清き 〇〇」。
- ② ; 仲良くする事。やわらぎあう事。
- ③ ; 冬になると空から降る白いもの。結晶は六角形。
- ④ ; 脳の表面を包む膜が炎症になる病気。
- ⑤ ; 山の怪物や川の怪物。さまざまのばけもの。
- ⑨ ; 人物・鳥獣などを模した形を灯火で照らして、障子・壁などにその影をうつす遊戯。
- ⑪ ; マグロの腹の部分の脂の乗り切ったところ。寿司ネタでありますよね、値段の高いやつ。
- ⑭ ; いかなる時にも。いつでも。
- ⑯ ; 近頃ビールの飲み過ぎで、〇〇が膨らんじやって・・・。
- ⑰ ; 国語・算数・〇〇・社会。

【たてのヒント】

- ① ; えちぜん鉄道、番田と水居の間にある、温泉街の駅は、〇〇駅。
- ⑥ ; 家の者。妻子・召使など、家に属する人の事。
- ⑦ ; 気がまえ。心のひろさ。「〇〇壮大」などと言います。
- ⑧ ; 火災を防ぐこと。
- ⑩ ; 正道なこと。また、きちんとしているもの。
- ⑫ ; あわら市出身の医師・教育者。日本留学時代の魯迅の恩師として知られるのは、藤野〇〇先生。記念館はあわら湯の町広場にあります。
- ⑬ ; 野の果て。
- ⑮ ; 今ある小学校の中で、旧金津町の小学校は、吉崎、金津、金津東、細呂木、そして〇〇。
- ⑯ ; なかま。つれ。とも。「人生の〇〇」なんて言います。
- ⑱ ; 表通りに面していない所。
- ⑲ ; 「売る」の反対語。



おひらせ



10月20日(日)

10月22日(火)

10月23日(水)

10月27日(日)

10月27日(日)

11月 2日(土) ~ 3日(日)

11月 2日(土) ~ 3日(日)

11月 3日(日)

11月10日(日)

あわら市民グラウンドゴルフ大会

健康長寿祭(吉崎)

健康長寿祭(浜坂)

給食センター竣工式

福祉まつり

あわら市民文化祭

あわら商工フェスタ

吉崎地区グラウンドゴルフ大会

吉崎語り部の会研修会